

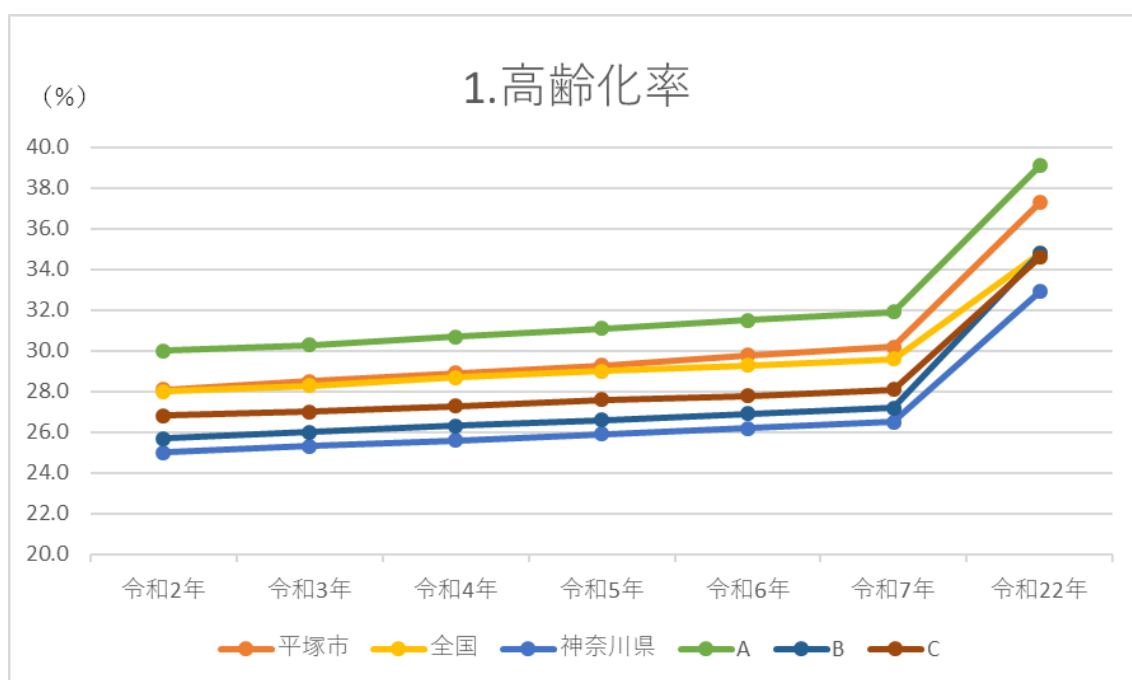
地域の介護保険事業の特徴を把握するため、「地域包括ケア「見える化」システム」を活用し、サービス資源や給付費等の現状把握・分析を行っています。さらに、近隣他市（A、B、C）との比較を行うことで、平塚市の相対的な位置づけを明らかにします。

本分析は、過去５年間（令和２年度から令和６年度）の各種実績データに基づいていますが、2025年問題や2040年問題といった将来の社会課題に対応するため、令和２年（2040年）までの高齢化率の推計値も加味して分析しています。

1. 高齢化率

高齢化率（％）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和22年
平塚市	28.1	28.5	28.9	29.3	29.8	30.2	37.3
全国	28.0	28.3	28.7	29.0	29.3	29.6	34.8
神奈川県	25.0	25.3	25.6	25.9	26.2	26.5	32.9
A	30.0	30.3	30.7	31.1	31.5	31.9	39.1
B	25.7	26.0	26.3	26.6	26.9	27.2	34.8
C	26.8	27.0	27.3	27.6	27.8	28.1	34.6

（出典）総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



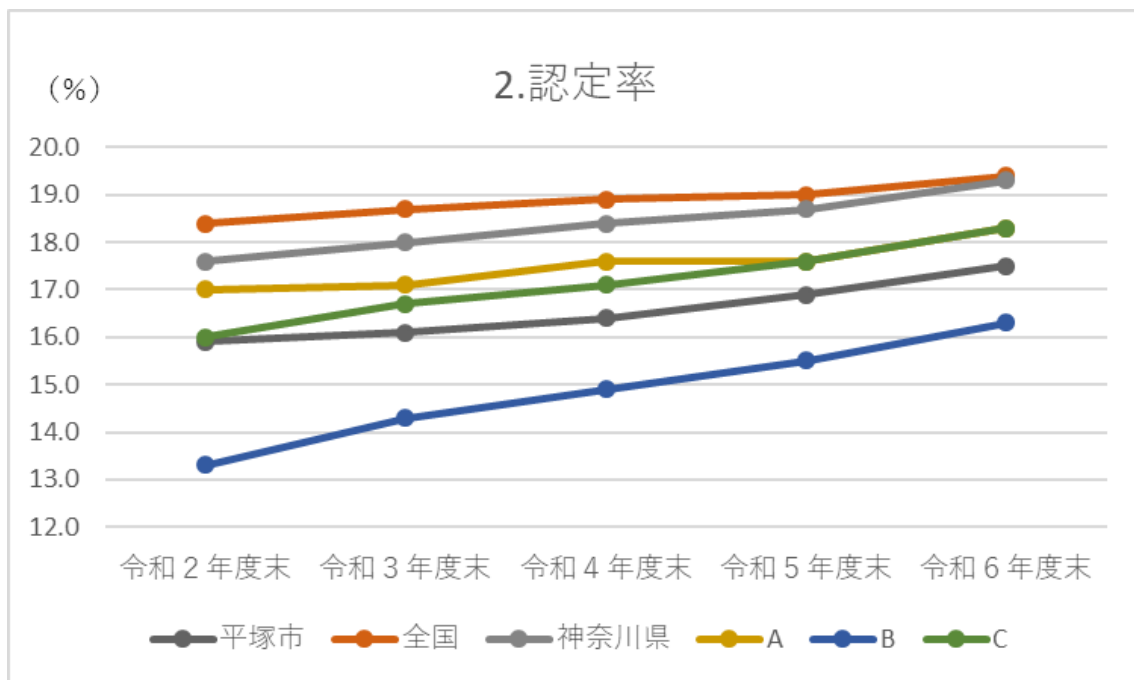
平塚市の高齢化率は年々上昇しており、令和２年以降は全国平均を超えて高い水準で推移しています。具体的には、令和２年の28.1%から令和７年には30.2%に達すると予想されており、令和２年には37.3%にまで上昇すると見込まれています。

この超高齢社会の進展に対応するためには、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が途切れることなく提供される地域包括ケアシステムのさらなる深化と推進が重要と考えられます。

2. 認定率

認定率（％）	令和２年度末	令和３年度末	令和４年度末	令和５年度末	令和６年度末
平塚市	15.9	16.1	16.4	16.9	17.5
全国	18.4	18.7	18.9	19.0	19.4
神奈川県	17.6	18.0	18.4	18.7	19.3
A	17.0	17.1	17.6	17.6	18.3
B	13.3	14.3	14.9	15.5	16.3
C	16.0	16.7	17.1	17.6	18.3

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5,6年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



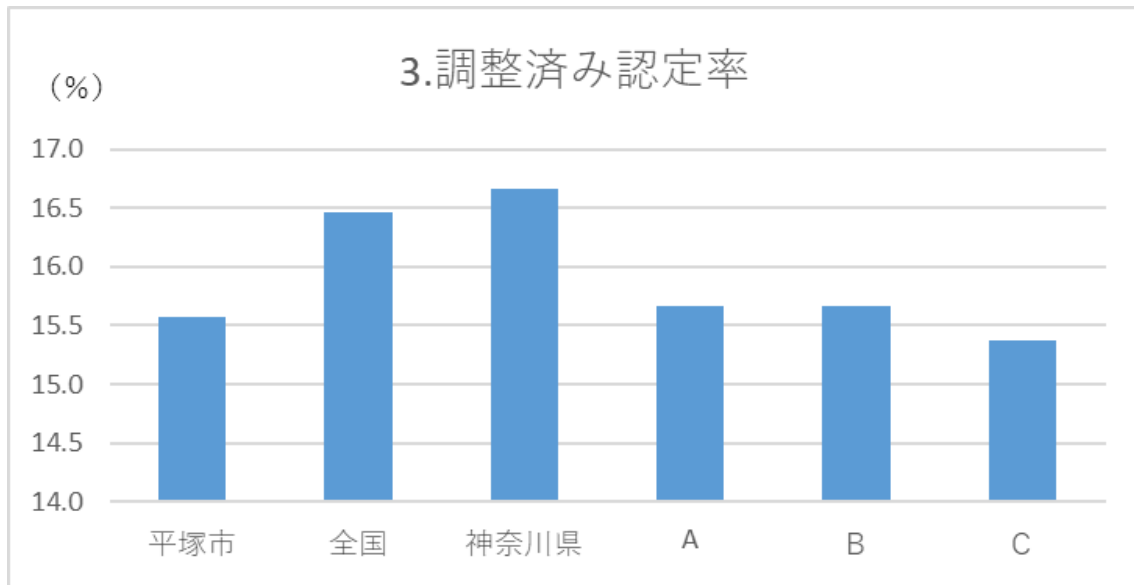
平塚市の認定率は、全国平均や神奈川県平均よりも低い水準にありますが、毎年少しずつ増加しています。例えば、令和２年度末の15.9%から令和６年度末には17.5%まで上昇しています。

今後も、できる限り要介護や要支援の認定を受けずに済むように、介護予防への取り組みをさらに強化していくことが大切です。

3. 調整済み認定率

調整済み認定率(%)	平塚市	全国	神奈川県	A	B	C
令和5年度末	15.5	16.4	16.6	15.6	15.6	15.3

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」



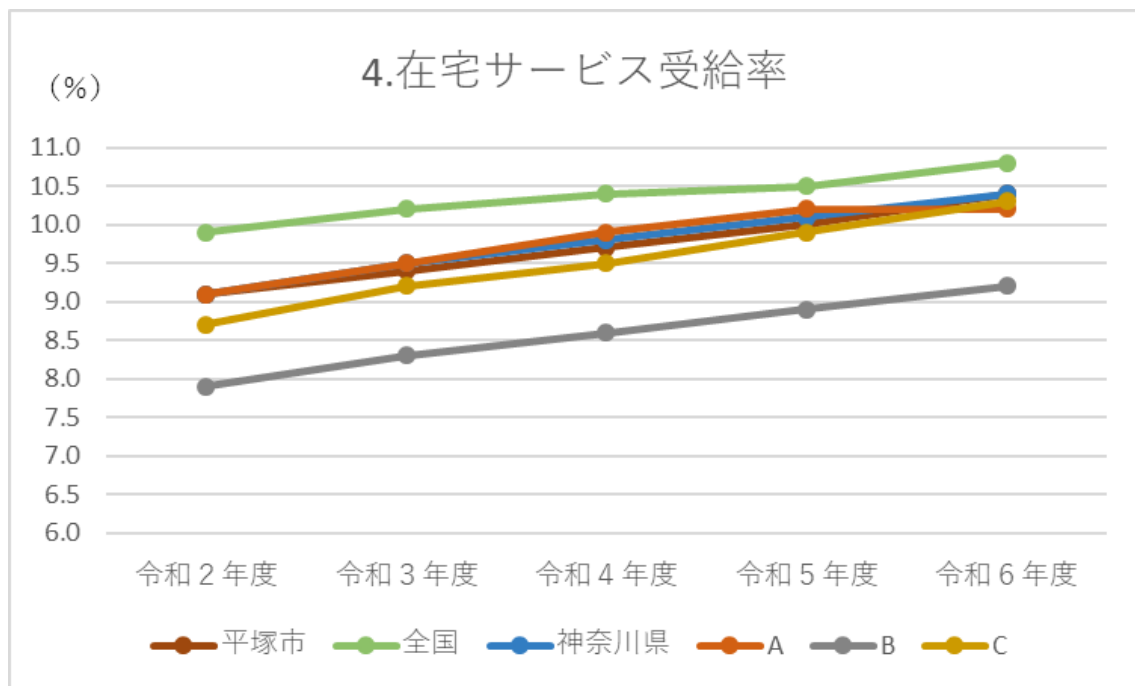
調整済み認定率とは、認定率に大きな影響を与える「第1号被保険者の性別や年齢構成」の影響を取り除いた認定率です。これにより、地域ごとの介護状況をより正確に比較できるようになります。

この調整済み認定率で見ると、平塚市（令和5年度末 15.5%）と全国平均（16.4%）および神奈川県平均（16.6%）との差は、調整前の認定率と比べて小さくなっていることがわかります。

4. 在宅サービス受給率

在宅サービス受給率(%)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平塚市	9.1	9.4	9.7	10.0	10.4
全国	9.9	10.2	10.4	10.5	10.8
神奈川県	9.1	9.5	9.8	10.1	10.4
A	9.1	9.5	9.9	10.2	10.2
B	7.9	8.3	8.6	8.9	9.2
C	8.7	9.2	9.5	9.9	10.3

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



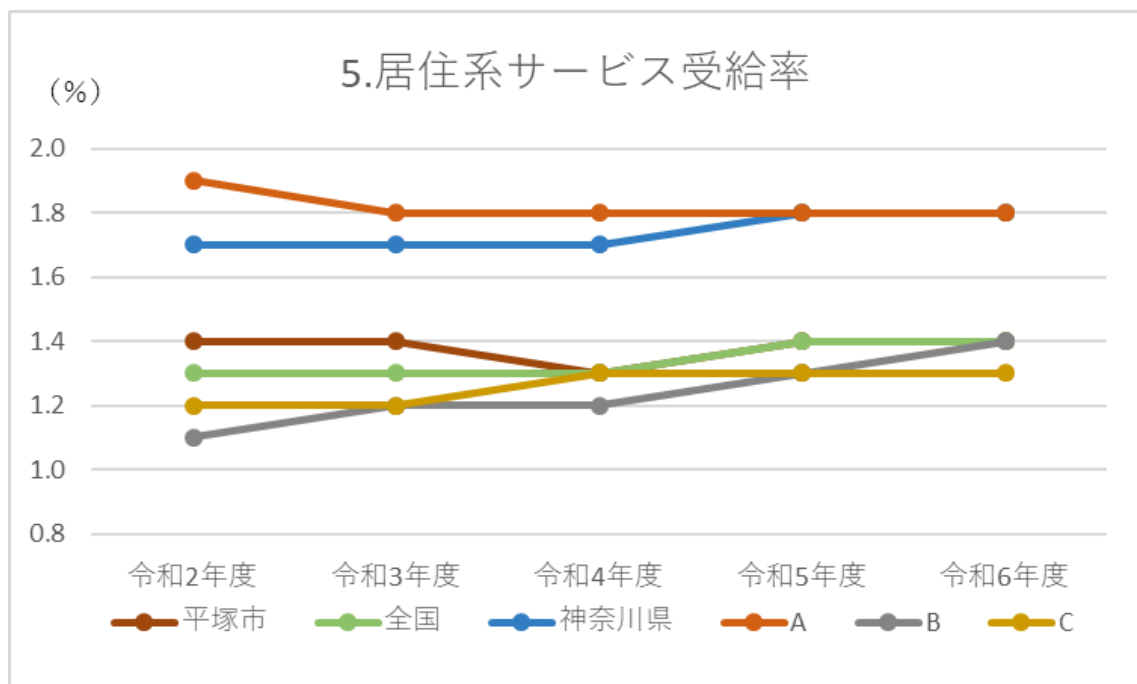
平塚市の在宅サービス受給率は、全国平均よりは低いものの、近隣市と比べるとやや高い水準で推移しています。例えば、令和6年度の平塚市は10.4%で、全国の10.8%よりは低いですが、近隣市のB市（9.2%）やC市（10.3%）よりは高いです。これは、平塚市内に訪問介護や通所介護、福祉用具貸与などの在宅サービスの事業所が多く、サービスを利用しやすい環境が整っていることが主な要因と考えられます。

※在宅サービス： 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、住宅改修、居宅介護支援

5. 居住系サービス受給率

居住系サービス 受給率(%)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平塚市	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4
全国	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4
神奈川県	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8
A	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8
B	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4
C	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



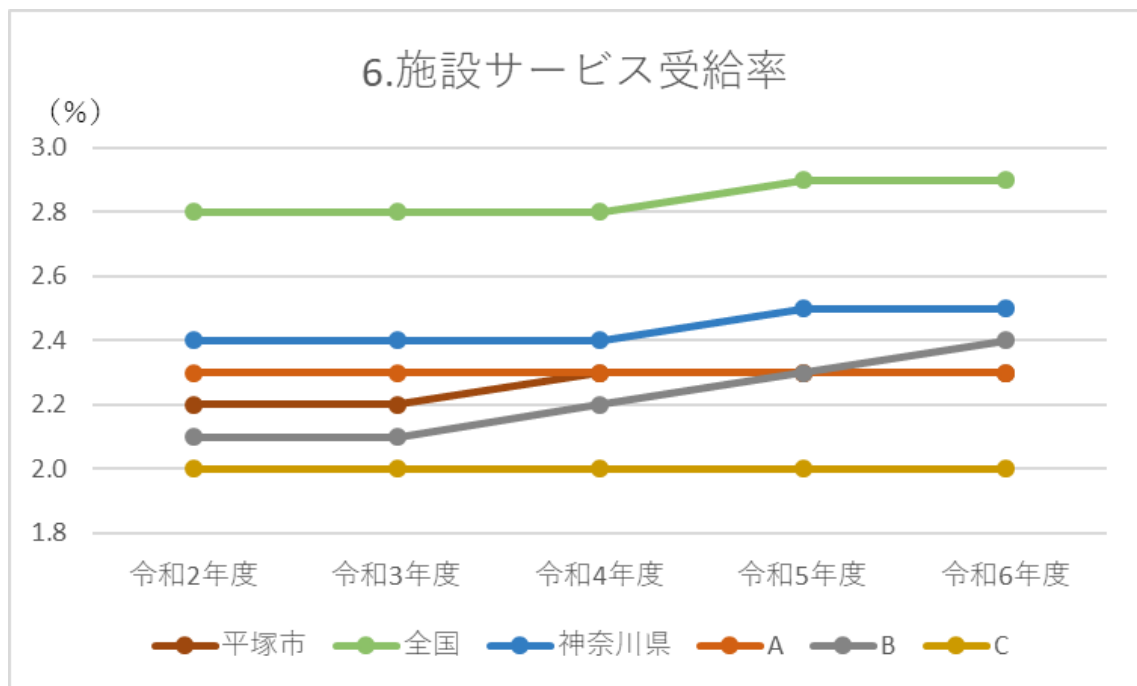
平塚市の居住系サービス（特定施設入居者生活介護や認知症対応型共同生活介護など）の受給率は、近年ではほとんど変化なく推移しています。全国平均（1.4%）と同水準ですが、神奈川県平均（1.8%）よりは低い傾向にあります。平塚市は令和6年度も1.4%で推移しています。

※居住系サービス：特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護

6. 施設サービス受給率

施設サービス 受給率(%)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平塚市	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3
全国	2.8	2.8	2.8	2.9	2.9
神奈川県	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5
A	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
B	2.1	2.1	2.2	2.3	2.4
C	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



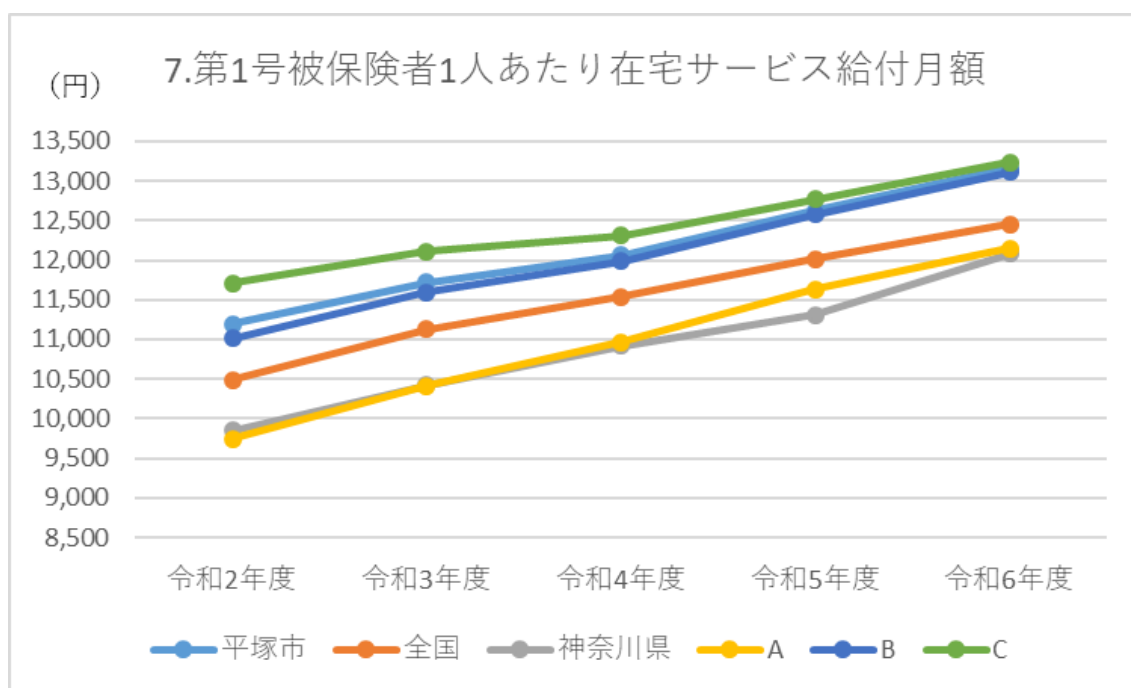
平塚市の施設サービス（介護老人福祉施設や介護老人保健施設など）の受給率は、全国平均（2.9%）や神奈川県平均（2.5%）と比べて低い水準にあります。平塚市は令和6年度で2.3%です。しかし、今後は整備が予定されている施設が増えることで、これらの施設を利用する人が増え、それに伴い受給率も上昇すると予想されています。

※施設サービス：介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

7. 第1号被保険者1人あたり在宅サービス給付月額

在宅サービス 給付月額(円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平塚市	11,198	11,719	12,066	12,624	13,163
全国	10,484	11,123	11,537	12,012	12,458
神奈川県	9,845	10,422	10,917	11,306	12,083
A	9,740	10,415	10,961	11,632	12,145
B	11,011	11,592	11,988	12,579	13,109
C	11,712	12,107	12,308	12,770	13,239

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



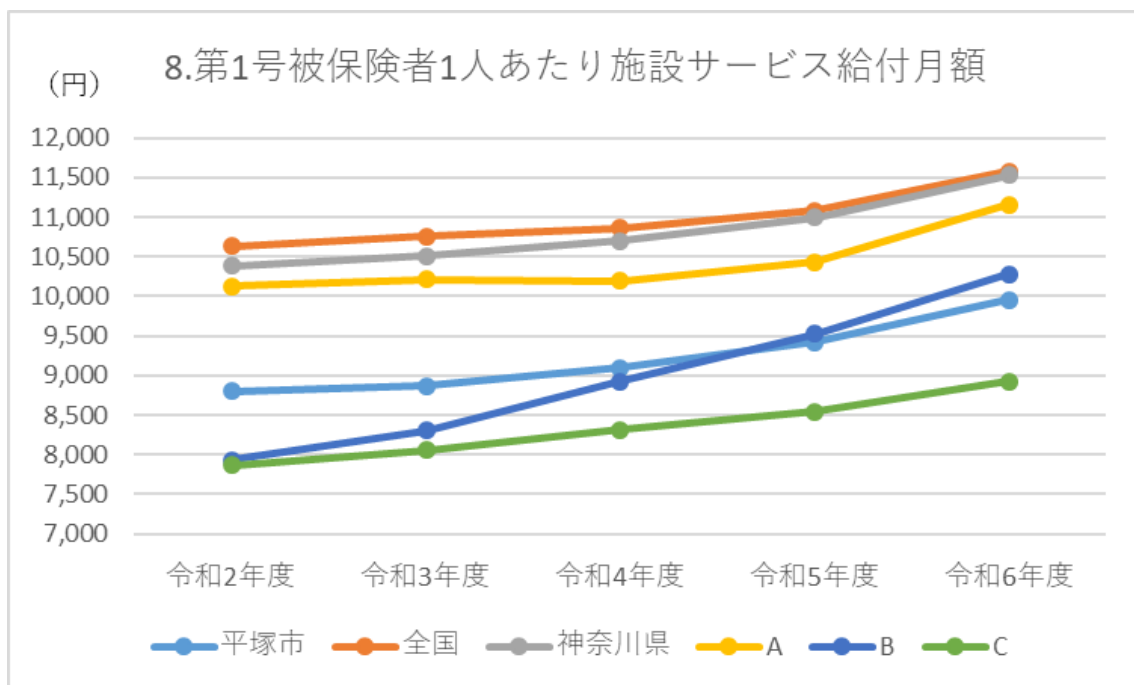
平塚市における第1号被保険者1人あたりの在宅サービス給付月額は、年々増加傾向にあります。令和2年度の11,198円から令和6年度には13,163円にまで増えています。この金額は全国平均（12,458円）よりは低いものの、近隣の市に比べると高い額となっています。

これは、要介護の状態になっても、多くの人が在宅サービスを利用しながら、住み慣れた家で生活の続けることを選択しているためと考えられます。

8. 第1号被保険者1人あたり施設及び居住系サービス給付月額

施設及び居住系サービス 給付月額(円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平塚市	8,801	8,868	9,096	9,423	9,958
全国	10,633	10,758	10,863	11,079	11,580
神奈川県	10,382	10,509	10,698	10,999	11,528
A	10,126	10,216	10,194	10,432	11,157
B	7,936	8,302	8,929	9,522	10,277
C	7,867	8,061	8,311	8,544	8,929

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）



平塚市における第1号被保険者1人あたりの施設および居住系サービス給付月額は、全国平均（11,580円）や神奈川県平均（11,528円）よりも低い水準にあります。令和6年度の平塚市は9,958円です。

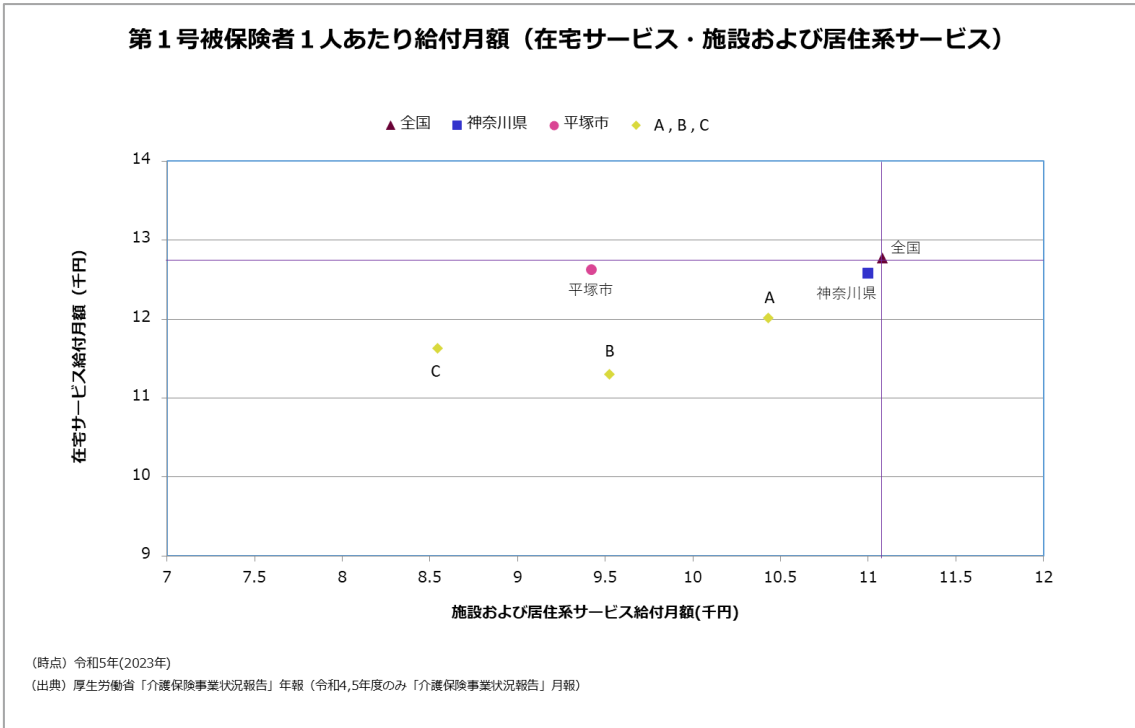
今後、施設サービスの利用が増えることで、この給付月額も増加すると予想されています。

9. 第1号被保険者1人あたり給付月額 在宅サービスと施設・居住系サービスの分布

	全国	神奈川県	平塚市	A	B	C
在宅サービス	13,239	13,109	13,163	12,458	12,083	12,145
施設および居住系サービス	11,580	11,528	9,958	11,157	10,277	8,929

（時点）令和6年(2024年)
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

令和6年時点のデータを見ると、平塚市は他の市や全国、神奈川県と比較して、在宅サービスの1人あたりの給付月額が特に高いという特徴があります。平塚市の在宅サービス給付月額は13,163円で、全国の12,458円、神奈川県の12,083円よりも高いです。一方で、施設および居住系サービスの給付月額は9,958円と、全国平均（11,580円）や神奈川県平均（11,528円）よりも低い水準です。



10. 平塚市介護保険事業の総合的な分析と今後の展望

平塚市は、高齢化率が令和２年以降全国平均を上回って推移しており、超高齢社会に対応するための地域包括ケアシステムの深化・推進が不可欠です。また、認定率は全国・神奈川県平均より低いものの着実に増加しており、介護予防への取り組みの継続的な強化が求められます。

現在の介護サービス利用状況では、平塚市は在宅サービスの受給率が近隣市よりやや高く、第１号被保険者１人あたりの在宅サービス給付月額も近隣市より高い水準にあります。これは、市内に在宅事業所が多く、要介護状態となっても住み慣れた家での生活継続を重視する平塚市の特徴を示唆しています。一方、施設および居住系サービスの受給率や給付月額は全国・神奈川県平均を下回っていますが、今後の施設整備により利用の増加が見込まれます。

総合的に見て、平塚市は急速な高齢化に対応しつつ、在宅での生活継続を重視する傾向が強いです。今後、増加する高齢者人口と多様化する介護ニーズに対し、在宅と施設・居住系サービスのバランスを考慮した、持続可能な介護保険事業の運営が求められます。